

高齢女性の萎縮性膣炎



高齢女性が黄色いおりものや出血を認めた場合、最も考えられるのは萎縮性膣炎（いしゅくせい ちつえん）です。これは、かつては老人性膣炎と呼ばれていたように、お年寄りに多い病気です。

卵巣から分泌される女性ホルモンの量は、更年期頃より次第に減少し、膣の表皮は薄くなって（萎縮して）いきます。そのため、細菌や物理的刺激に対する膣の抵抗力は低下し、膣の表皮は真赤になって傷つきやすい状態になります。膣の状態により、黄色いおりものが増えた程度から持続的な出血や膣の灼熱感などまで、様々な症状が出現してきます。膣の中にホルモン剤を挿入するという比較的簡単な方法により治療することが可能です。

なお、治療はどこにもガンが存在しないことを確認した後に行なっています。つまり、黄色いおりものや出血を認めて萎縮性膣炎と自己診断することは危険ですので、必ず産婦人科を受診下さい。

